

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事を量を知り、適正体重を維持しよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画(昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標	中間評価	目標H34(2023)
・親子の食育教室	幼稚園・保育園・幼児園などでの行事の支援を通じて、保護者への食の大切さを伝えます。	民生委員児童委員協議会	●子育てサロンで食育教室を実施年2回(幼児園、地域の未就園児と保護者)	新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかった。	D	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	B B	↗
・バランスのよい食生活の啓発	栄養改善教室等を開催し、バランスのよい食生活の啓発を実施します。 イベント等で野菜を使ったレシピの紹介を行います。	健康推進員連絡協議会	●伝達講習会(年3回)実施 ●各学区や、地域での栄養改善教室の実施 ●生涯骨太クッキングの実施 ●食育推進事業「食育の日」ティッシュ配布 ●野菜食べ隊活動を市内スーパー等で実施 ●食のシルバーパワー支援事業「食の知恵袋教室」実施 ●シルバー認知症予防教室 ●生活習慣病予防のための減塩プロジェクト ●ヘルスマイトパワーアップ事業として、健康推進のスキルアップのため健康づくり財団にて研修を行った。 ●やさしい在宅介護食教室の実施 ●「なごやかいちょうまつり」にてエブロンアターで啓発を実施 ●県委託事業の実施 生涯骨太クッキング、生涯を通じた食育活動、野菜食べ隊活動、やさしい在宅介護食教室、高齢者低栄養予防教室、健康寿命延伸プロジェクト(働き盛り世代、高齢者世代)、ヘルスマイトパワーアップ事業、食育推進月間	感染症拡大防止の観点から調理実習は行わず、資料の配布等により啓発を行った。  ●各学区や地域での啓発資料等の配付 ●県委託事業の実施 生涯を通じた食育活動、野菜食べ隊活動、生涯骨太クッキング、やさしい在宅介護食教室、高齢者低栄養予防教室、健康寿命延伸プロジェクト(働き盛り世代、高齢者世代)、ヘルスマイトパワーアップ事業、食育推進月間	B	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  ●伝達講習会(年3回)実施 ●各学区や、地域での栄養改善教室の実施 ●学区の祭り等での展示や試食を通じた啓発活動の実施 ●高齢者サロンの支援や啓発の実施 ●県委託事業の実施 生涯骨太クッキング、生涯を通じた食育活動、野菜食べ隊活動、やさしい在宅介護食教室、高齢者低栄養予防教室、健康寿命延伸プロジェクト(働き盛り世代、高齢者世代)、ヘルスマイトパワーアップ事業、食育推進月間	朝食を欠食する人の減少 男性 8.6% 女性 5.4%  朝食を欠食する人の減少 男性 11.8% 2022 17.4% 女性 5.6% 2022 10.0%  食塩摂取量の減少 男性 11.6g 女性 9.7g  食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%  野菜摂取量の増加 250.2g  適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%)  メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	C B  A B  A A  B B	↘ ↘ ↗ ↗ ↘
・食育の啓発活動	料理教室、各種講習会、イベントの開催等を通じて食育を啓発します。	健康推進員連絡協議会	●おやこの食育教室の実施 ●生涯を通じた食育推進活動の実施 ●男性のための料理教室の実施	●感染症拡大防止のため調理実習は行わず、資料配付等により、幅広い世代を対象に啓発を行った。 ●毎月19日は食育の日であり、PRのためスーパー等でティッシュ配りを行った。	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)			

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料3

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画(昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標	中間評価	目標H34(2023)	
・健康づくり啓発への協力	医療機関や商店など人が集まる民間の公共施設において、健康づくりの啓発や情報提供を実施します。	医師会 歯科医師会 あなたの健康ささえ隊協力事業所	●診療所において、プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 ●日常診療を通じて、バランスの良い食生活について指導を実施	医師会 ●診療所において、プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 ●日常診療を通じて、バランスの良い食生活について指導を実施  歯科医師会 プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施しました。  薬剤師会 プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施しました。	B	医師会 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  歯科医師会 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  薬剤師会 ☐令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・「早寝早起き朝ごはん」の推進	学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりを推進します。	医師会	●学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりの推進に協力	●学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりの推進に協力(新型コロナウイルス感染症の流行により学校保健委員会が開催できない学校も多く、十分な活動ができなかった)	C	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%	B B	↗
・体重測定の推進	適正体重を自分で管理するため、体重測定をするように啓発します。	あなたの健康ささえ隊協力事業所 健康推進員連絡協議会 健康増進課 長寿福祉課	●県からの委託事業、生活習慣病予防のための減塩プロジェクトにおいて適正BMIについて説明。 ●フレイル予防個別相談事業 いきいき百歳体操実践団体継続支援の際に基本チェックリストの栄養項目でフレイル状態かつ希望者に対して管理栄養士が自宅等に向いて食生活ならびに栄養に関する助言や指導を行う。	長寿福祉課 いきいき百歳体操を実施している団体のうち、フレイルチェックを希望する17団体に実施。(R4年12月末時点。3月見込みは出せない)  健康推進員 計画通り実施することができた。	B	長寿福祉課 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  健康推進員 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	体重測定をする人の増加 68.7%  2022年 68.3%	—	↗	
・くりちゃん野菜たっぷりレシピの推進	野菜摂取量を増やすこと、野菜から食べることの必要性を普及します。あなたの健康ささえたい協力事業所や学区民まつり等で、くりちゃん野菜たっぷりレシピを推進します。	あなたの健康ささえ隊協力事業所 健康推進員連絡協議会 健康増進課	●学区民まつりでくりちゃん野菜たっぷりレシピを配布 ●食育教室や健康フェアにて350gの野菜の量と調理後の量を紹介・推進を実施 ●健康情報ちらし「プロジェクトW」に野菜たっぷりレシピを掲載し、配布	健康推進員 感染症拡大防止のため学区民祭りでの実施はなし 健康増進課 健康情報ちらし「プロジェクトW」に野菜たっぷりレシピを掲載し、配布した。	B	健康増進課 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	野菜の摂取量の増加 250.2g	野菜の摂取量の増加 305.2g	A	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料3

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画(昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標	中間評価	目標H34(2023)	
・食についての教育・情報提供	朝食の大切さや栄養バランスの大切さを子供に伝えます。同時に保護者へも情報提供を行います。	市立小中学校	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校栄養教諭による指導、授業</li> <li>●給食感謝週間への取組</li> <li>●毎月19日を食育の日と設定</li> <li>●『あと半口(残っている量の半分)運動』等の実施</li> <li>●学校保健委員会で栄養教諭の講話と給食試食会の実施</li> <li>●給食の残菜調べ</li> <li>●お弁当づくり、調理実習の実施</li> <li>●食育たよりの発行</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭科の授業を通して、朝食の大切さ等食育指導を実施する。</li> <li>●年3回食育たよりを発行する、食育授業の実施</li> <li>●摂取内容について自分自身で考えていけるよう、掲示物や保健だより等で啓発していく。</li> <li>●調理実習の実施(2年生)</li> <li>●「お弁当の日」を設定し、弁当作りの啓発</li> </ul>	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校栄養教諭による指導、授業</li> <li>●給食感謝週間への取組</li> <li>●毎月19日を食育の日と設定</li> <li>●『あと半口(残っている量の半分)運動』等の実施</li> <li>●学校保健委員会で栄養教諭の講話と給食試食会の実施</li> <li>●給食の残菜調べ</li> <li>●お弁当づくり、調理実習の実施</li> <li>●食育たよりの発行</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭科の授業を通して、朝食の大切さ等食育指導を実施する。</li> <li>●年3回食育たよりを発行する、食育授業の実施</li> <li>●摂取内容について自分自身で考えていけるよう、掲示物や保健だより等で啓発していく。</li> <li>●調理実習の実施(2年生)</li> <li>●「お弁当の日」を設定し、弁当作りの啓発</li> </ul>	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%	B B	↗
・園等での食についての教育・啓発	幼稚園・保育園・幼児園などにおいて、関係団体の協力を得ながら、食についての教育・啓発を行います。	幼稚園・保育園・幼児園	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月給食だよりを配布し、食と健康に関する正しい知識の啓発</li> <li>●菜栽培やクッキングなどの食育活動や給食での啓発。</li> <li>●健康推進員による園児への食育指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だよりを毎月配布し、食と健康に関する啓発を行いました。</li> <li>・野菜の栽培をとおした食育活動を行いました。自園給食実施園においては給食に使用したり、また家庭に持ち帰って家庭での調理に使っていただきました。</li> <li>・課の栄養士が5歳児親子に食育教室を実施しました。</li> </ul>	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%	B B	↗



【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料3

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画(昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標	中間評価	目標H34(2023)	
・カルシウム摂取不足と運動不足の解消に関する啓発	幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生に対して、カルシウム摂取量を増やすこと、運動により子どもの頃から骨量高め、維持することの必要性についての知識を普及します。 栄養不足や運動不足による若い女性のやせが与える健康への影響について、知識を普及します。	幼稚園・保育園・幼児園 幼児課 市立小学校 健康増進課	●幼稚園、保育園、幼児園の保護者を対象とした研修会の実施 ①2月 治田幼稚園・治田保育園 ●幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生の保護者への出前講座においてカルシウム摂取の必要性について啓発。 小学校 ●栄養教諭による「食の学習」を実施する。	幼児保育課 ・幼稚園保育園幼児園の保護者を対象にした研修会の実施しました。 ・感染症の影響により、外部講師による集団での研修実施を見送りました。 小中学校 ・栄養教諭によりでカルシウム摂取について「食の学習」で取り組むことができた。 健康増進課 予定どおり実施することができた。	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	全出生数の低出生体重児の割合の減少 9.6% 食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5% 適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%)	全出生数の低出生体重児の割合の減少 10.3% 食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.9% 2022 64.0% 女性 79.1% 2022 79.3% 適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 22.2% 2022 27.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 35.1% 2022 25.0% 20歳以上 24.1%) 2022 21.3%	B B B A C A	↘ ↗ ↗
・食に関する講座の開催	コミュニティセンター等において、食に関する講座を開催します。	生涯学習課	●平和学習 全学区(9)実施 ●親子クッキング 親子ベーキング教室 4回 ●はつらつ教養大学 食育栄養講座 2回	●平和学習 5学区実施 食事体験未実施 ●親子クッキング 親子ベーキング教室 2回 ●はつらつ教養大学 食育栄養講座 3回	B	生涯学習課 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8% 食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0% 食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.9% 女性 79.1%	B B B B	↗ ↗
・乳幼児に対する栄養指導・相談	乳幼児健診において離乳食指導など栄養指導を行います。 乳幼児を対象として栄養相談を実施します。 乳幼児健診時などに、望ましい食生活の基礎づくりを啓発します。	健康増進課	●乳幼児栄養指導・相談 ①4か月・10か月健診での栄養集団指導 各月2回実施 ②定例栄養相談 月4~5回実施 ③啓発リーフレットの配布 4か月・10か月・1歳6か月 各月2回実施。その他、必要者に配布。	①感染症拡大防止のため集団指導は中止。②、③については計画通り実施した。	B	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 令和4年度に引き続き集団指導は中止。	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.9% 女性 79.1%	B B	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料3

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画(昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標	中間評価	目標H34(2023)		
・特定保健指導での生活習慣改善に伴う食生活指導	特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった人に生活習慣改善に伴う食生活指導を実施し、メタボリックシンドロームの改善を推進します。	健康増進課	●特定保健指導での生活習慣改善に伴う食生活指導(特定保健指導利用者数)	令和3年度は参加者数92名。今年度についても10月頃から開始している。	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%)  メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 22.2% <b>2022 26.7%</b> やせの者の割合(女性) (15~19歳 35.1% 20歳以上 24.1%)  メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合 40歳以上男性 44.0% 40歳以上女性 18.5%  体重測定をする人の増加 68.7%	A  C A  B B	↗  ↘  ↗	
・生活習慣病相談	生活習慣病の発症や悪化予防のための栄養相談を実施します。	健康増進課	●定例生活習慣病相談の実施	対象者の健診結果等を参考に指導または医療機関への受診勧奨を実施した。	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	野菜の摂取量の増加 250.2g	野菜の摂取量の増加 305.2g	A	↗	
・単野菜メニューの出前講座	食育推進計画に沿って、家庭で野菜料理を1皿増やしてもらうために、お弁当向き簡単野菜レシピや子どもの苦手な野菜を克服できるメニューについて講座を行います。	健康増進課	●簡単野菜メニューの出前講座の実施	依頼がなかった為、今年度は実施なし。	D	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%  食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%  食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.9% <b>2022 63.3%</b> 女性 79.1% <b>2022 78.9%</b>	B B  B B	↗  ↗	
・子どもの食に関する講座の開催	子育て中の保護者を対象に、離乳食の作り方や与え方など食事の基礎を学ぶ講座を開催します。	子育て応援課	●離乳食講座4回 ●にこにこ広場「離乳食コーナー」	予定通り実施できた	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%  適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%)	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%  適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 22.2% やせの者の割合(女性) (15~19歳 35.1% 20歳以上 24.1%)	B B  A C A	↗  ↗  ↗	
・「ふだんの生活習慣アンケート調査」の実施と活用	一市立小中学校の全児童生徒を対象とした食生活等基本的な生活習慣に関する「ふだんの生活習慣アンケート調査」を実施し、関係機関等での活用を図ります。	学校教育課 幼児保育課	●市内保幼小中学校の全児童生徒を対象とした食生活等、基本的な生活習慣に関する「ふだんの生活習慣アンケート」を実施する。(6月) ●平成18年度から今年度(平成30年度)までの13年間の経年比較・追跡比較による考察を行い、校長会等、関係者に公表する。	学校教育課 「朝食摂取率」は、小学校で95.5%、中学校で94.0%であった。  幼児保育課 市内31園にアンケートを配布し、 <b>93%の回収率がありました。</b>	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	【変更】 →滋賀県「朝食摂取率調査」の実施と活用	【変更】 指標を削除	B B  A C A	↗  ↗  ↗	
				●取組の最終年度となることから、平成18年度から平成30年度までの13年間の経年比較・追跡比較による考察を行い、経過分析を行った。 ●H30朝食摂取率は、小学校で96.7%、中学校で94.1%であった。							